

科目名 (科目番号)	画像検査学実習 (時間割参照)	教員名	飯田 典子 他	学科等	臨床検査	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				授業形態	実験・実習	オフィスアワー	B205研究室	
授業概要	生理機能検査の中で、超音波検査、眼底検査、熱画像MRI検査、MRI検査を実習する。特に超音波検査としては、腹部、心臓、体表、血管の検査を習熟する。それぞれの検査法、機器の構造と取扱法、患者への対応、安全対策などについて習得する。また、検査結果の解析や評価、疾病との関連性や検査への応用力を身につける。							
目的・目標	目的:超音波検査、眼底検査、熱画像検査、MRI検査について、検者と被験者を体験し、測定法を習得する。また、異常所見について理解する。 目標:①超音波検査、眼底検査、熱画像検査、MRI検査の測定法を身につける。 ②各検査法の主な異常所見について理解できる。							
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	オリエンテーション	到達目標:正常画像の記録法、および異常画像の特徴について理解できる。 学習内容:各種画像検査の正常画像の記録法および異常像の概略を学ぶ。					
	2	腹部超音波検査	到達目標:正常像の描出ができ、異常像の特徴について理解できる。 学習内容:腹部臓器(肝臓・腎臓・胆嚢・膵臓など)の正常像の描出技術(実習およびデモプレゼンテーション)を学ぶ。					
	3	心臓超音波検査	到達目標:正常像の描出ができ、異常像の特徴について理解できる。 学習内容:心臓のB・Mモードおよびドブラ法による正常像の描出技術を学ぶ。					
	4	体表・血管系超音波検査	到達目標:正常像の描出ができ、異常像の特徴について理解できる。 学習内容:体表(甲状腺など)、血管(頸動脈、下肢静脈など)の描出技術を学ぶ。					
	5	サーモグラフィ・眼底検査	到達目標:正常像および異常像の特徴について理解できる。 学習内容:サーモグラムおよび眼底像の描出技術を学ぶ。					
	6	MRI検査	到達目標:正常像および異常像の特徴について理解できる。 学習内容:MRIの描出技術を学ぶ。					
	7	描出法の確認(総合Ⅰ)	到達目標:各自が指定された臓器の超音波像の特徴を説明でき、実際に描出できる。 学習内容:指定された臓器の超音波像が描出できる。					
	8	描出法の確認(総合Ⅱ)	到達目標:各自が指定された臓器の超音波像の特徴を説明でき、実際に描出できる。 学習内容:指定された臓器の超音波像が描出できる。					
成績評価の方法・基準	期末試験(50%)＋実技試験(50%)で評価する。							
教科書	最新 臨床検査学講座 生理機能検査学 第2版			東條尚子・川良徳弘 編著			医歯薬出版	
参考図書	生理機能検査学実習書			(一社)日本臨床検査学教育協議会			医歯薬出版	
教員からのメッセージ	オリエンテーションで解説する測定技術や異常画像について、重要なポイントをしっかりとノートを取り、理解すること。 超音波検査については実技試験を実施するので、実習に積極的に参加すること。 総合病院で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。							